

武雄市白岩運動公園・新体育館整備基本計画

(案)

令和 2 年 月 日

武 雄 市

— 目次 —

第1章	現状と課題	P 3
1-1	経過	
1-2	関連計画上の白岩運動公園、新体育館の位置づけ	
1-3	白岩運動公園の現状	
	(1) 白岩運動公園内の施設概要	
	(2) 利用状況	
1-4	市内屋内運動場の状況	
1-5	施設概要	
1-6	利用状況と課題整理	
	(1) 白岩運動公園内施設	
	(2) 市内競技団体等の状況	
	(3) 白岩体育館の利用形態と課題	
	(4) スポーツ競技団体へのヒアリングによる主な意見	
	(5) 武雄市公園利用に関するアンケート	
第2章	白岩運動公園に求められるもの	P 2 1
2-1	強化・改善するもの	
2-2	新たに加えるもの	
第3章	新体育館に求められるもの	P 2 2
3-1	継承するもの	
3-2	強化・改善するもの	
3-3	新たに加えるもの	
第4章	基本理念	P 2 4
第5章	白岩運動公園のコンセプト	P 2 4
5-1	白岩運動公園のコンセプト	
第6章	新体育館のコンセプト	P 2 5
6-1	新体育館のコンセプト	
第7章	白岩運動公園に充実する機能	P 2 6
7-1	憩い・交流機能	
7-2	駐車場	
7-3	防災関連機能	
7-4	トリムコース	

第 8 章	新体育館に充実する機能	・ ・ ・ ・ ・	P 2 7
8-1	メインアリーナ		
8-2	メインアリーナ 2 階観覧席		
8-3	サブアリーナ		
8-4	軽スポーツルーム		
8-5	会議室		
8-6	こどもスポーツルーム		
8-7	その他の機能		
第 9 章	基本指標	・ ・ ・ ・ ・	P 3 3
9-1	想定人口（人口推計）		
9-2	新体育館の指標		
	(1) 利用予測		
	(2) 想定する大会の規模		
第 10 章	新体育館計画地とその周辺環境	・ ・ ・ ・ ・	P 3 5
10-1	新体育館計画地		
10-2	環境整備		
	(1) ゾーニング		
	(2) 公園内動線計画		
	(3) アプローチ		
第 11 章	整備計画	・ ・ ・ ・ ・	P 3 7
11-1	仕様		
11-2	新体育館の配置計画		
11-3	新体育館の想定床面積		
	(1) 想定床面積		
	(2) 各諸室の想定床面積		
11-4	概算事業費及び財源計画		
	(1) 概算事業費		
	(2) 財源計画		
	(3) 維持管理費の軽減		
	(4) 設計者選定手法		
11-5	想定事業スケジュール		
第 12 章	管理運営について	・ ・ ・ ・ ・	P 4 1
12-1	方針		
12-2	施設運営の考え方		
	(1) 管理、運営方式の検討		
	(2) 利用料金設定等の検討		
	(3) その他		

第1章 現状と課題

1-1 経過

白岩運動公園は体育館、競技場、相撲場、弓道場、ゲートボール場などの施設を有した各種スポーツの拠点となる公園で、昭和 51（1976）年に佐賀県で開催された第 31 回国民体育大会（若楠国体）と時を同じくして整備されました。

近年は、モータリゼーションの進展により車での来場者が増え、大会等の開催となると駐車場不足や施設間の往来時に支障が生じるなど、多くの利用者において不具合が生じていることも見受けられるようになっていきます。

昭和 50 年に竣工した白岩体育館は、市の中心的な屋内スポーツの拠点機能を担うとともに、生きがいやコミュニティづくりなどに重要な役割を果たし、多くの市民に利用されてきました。

近年は、時代の移り変わりとともに健康志向の高まりなども相まって、スポーツに対するニーズは多様化・高度化しており、白岩体育館についても量的・質的な充実が求められてきています。一方で、建設から 40 年以上が経過した白岩体育館は、施設や設備の老朽化が著しく、耐震補強ができていない状況にあります。さらに、熱中症対策ともなる空調の整備、床面の沈下やささくれ対策などの大規模な改修を要する事案から新たな機能の追加を求める声もあるなど、改善していくべき課題が多くあります。

また、市内の屋内スポーツ施設のひとつ北方西体育館（昭和 39 年竣工）は、一部利用を制限するなど老朽化が著しく、こちらも耐震補強ができていないなどの課題があります。

これらをふまえ、アセットマネジメント*の観点から、武雄市公共施設等総合管理計画（平成 29 年 3 月）及び武雄市公共施設等個別施設計画スポーツ施設編（平成 31 年 4 月）、白岩運動公園体育施設整備に係る基礎調査（令和元年 5 月）を受けて、白岩体育館と北方西体育館を統合した新たな体育館を、白岩運動公園内に移転建設する案を整理しました。

新体育館の整備にあたっては、現在のスポーツ需要を満たしつつも、将来の人口減少や少子・高齢社会を見据え、今後とも担っていくべき機能を新施設に集約（既存施設は除却）することで、本市が保有する公共施設の総量の最適化を図ることとしています。

*アセットマネジメント

社会インフラによる公共サービスの最適化を達成するため、今ある資産を物理的、機能的な老朽化等を将来にわたり把握、評価。それを将来にわたって安全かつ快適に維持するとともに、多様化するニーズに的確にこたえるために費用対効果に十分留意しながら適切な公共サービスを提供していくもの。



(白岩運動公園)

- ・ヒアリング調査等
 - 一般財団法人武雄市体育協会
 - 市体育協会関連の各種競技団体：10 団体
 - (令和元年 11 月 8 日～令和元年 11 月 20 日)
- ・白岩体育館利用者アンケート
 - (平成 30 年 9 月 22 日～平成 30 年 10 月 19 日)
- ・白岩運動公園体育施設整備に係る基礎調査に係るアンケート
 - (平成 31 年 4 月 19 日～令和元年 5 月 7 日)
- ・公園整備に関する意識調査アンケート
 - (平成 27 年 9 月 28 日～平成 27 年 10 月 13 日)
- ・武雄市体育施設整備検討委員会
 - 構 成：副市長、教育長、総務部長、企画部長、まちづくり部長、こども教育部長、こども教育部理事、関係課長等
 - 開 催：平成 29 年 10 月～令和元年 12 月 26 日
- ・武雄市スポーツ施設検討市民会議
 - 構 成：13 名、開 催：平成 31 年 2 月 18 日、2 月 27 日、3 月 7 日
- ・武雄市白岩運動公園整備検討幹事会
 - 構 成：関係各課より選出 14 名
 - 開 催：平成 31 年 4 月 22 日～令和元年 12 月 3 日

1-2 関連計画上の白岩運動公園、新体育館の位置づけ

白岩運動公園・新体育館整備基本計画に関連する上位計画には次のものがあります。

(1) 武雄市まち・ひと・しごと創生総合戦略

まち・ひと・しごと創生法（平成 26 年法律第 136 号）第 10 条に基づき、国の総合戦略を勘案した上で、武雄市人口ビジョンを踏まえ、武雄で市民一人一人が幸せに暮らすことを重視し「もっと輝く☆スター戦略☆」と称して策定。

「基本目標③ 生きがいと健康を実感できるまちをつくる」

生きがいと健康をもって社会にかかわることが重要として取組んでいる。その具体的施策として、健康増進のための事業を展開しており、それらの受け皿となる諸施設の整備が求められている。

「基本目標④ 来てもらう・住んでもらうまちをつくる」

武雄市への新しいひとの流れをつくるべく交流人口の増加に向けた取り組みや、スポーツ大会誘致等を具体的施策としている。これらの施策により多くの人やアスリートが訪れることで、情報発信と魅力向上、地域の活性化につなげていく。

(2) 武雄市国土利用計画

市土の総合的かつ計画的な利用促進を図ることを目的とした計画。白岩運動公園一帯は、スポーツレクリエーション施設が整備されたスポーツ行事の拠点の一つであり、スポーツ関連施設については、施設の充実に努めるとの方向性を示している。

(3) 武雄市公共施設等総合管理計画

公共施設の老朽化に対して、施設の長寿命化や予防保全による維持管理、機能の統合・複合化による適正配置、管理運営方法等について、基本的な方向性を示し、適正な管理を推進する計画。

(4) 武雄市公共施設等個別施設計画（スポーツ施設編）

武雄市公共施設等総合管理計画に基づき、市内のスポーツ施設について将来の方向性等を明らかにするために策定した計画。各施設の評価指標により「維持」「利用方法見直し」「修繕・更新」「廃止」に分類され、「施設量最適化」「長寿命化」「安全確保」の基本方針により施設の方向性を示している。

(5) 武雄市行政改革プラン

武雄市の財政基盤の強化のため、将来に向けた課題として社会資本ストックの維持管理と更新を掲げた計画。社会資本ストック（道路や学校、社会体育施設など）の老朽化に伴う維持補修費や更新費用が増大することへの対応策として、迅速に対応するコンパクトな組織体制と持続力のある健全な財政運営の実施を目指す。

(6) 武雄市創造的復興プラン

「被災前よりも一人一人が幸福を実感できるまちへ」の基本理念に、令和元年の豪雨による被災からの復旧・復興を推進するプラン。スポーツを通じた更なる幸福の実現（心の復興）と、未来を担う人材(豊かな人材)をみんなで育てる環境づくりを目

指し、新たなスポーツ文化を生み出す災害時拠点となるスポーツ公園の整備に取り組む。

(7) 武雄市地域防災計画

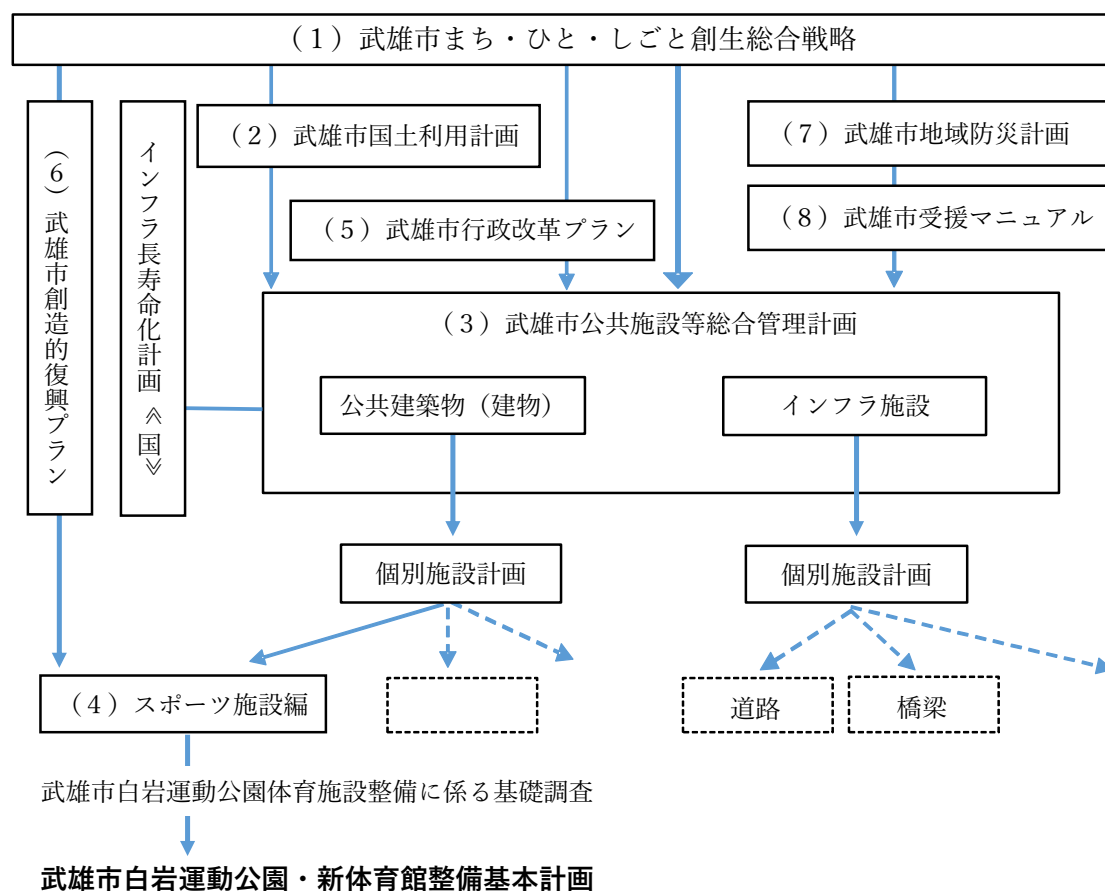
災害対策基本法（昭和 36 年法律第 223 号）第 42 条の規定に基づき、災害予防、災害応急対策及び災害復旧・復興について武雄市防災会議が作成した計画。

災害時において、白岩運動公園一帯は、救助・救命活動への支援を行う警察・消防・自衛隊の部隊の展開、宿営等の拠点に位置づけている。

(8) 武雄市受援マニュアル

大規模災害が発生した場合、外部からの応援を円滑に受け入れ、本市職員と応援者が連携し、災害応急対策、災害復旧・復興に取り組んでいけるよう作成した計画。白岩体育館は支援物資の集積所等として位置づけている。

【関連計画のイメージ】



1-3 白岩運動公園の現状

(1) 白岩運動公園内の施設概要

施設名	構造	面積(㎡)		設置年	耐用年数
		建物	その他		
体育館	R C 造	3,101		S50(1975)	47
球場			18,900	S51(1976)	30
競技場			23,300	S51(1976)	30
運動広場			12,000	H11(1999)	30
弓道場	S 造	980		H11(1999)	34
相撲場	S 造	100	1,370	S55(1980)	30
ゲートボール場			2,000	H12(2000)	30
軽運動場			1,500	H11(1999)	30

(2) 利用状況 (出典：武雄市白岩運動公園体育施設整備に係る基礎調査)

○ 白岩体育館

大競技室、小競技室ともに平日は夜間が多く、土曜・日曜は全日利用頻度が高い。

○ 白岩球場

春期・秋期の土曜・日曜の利用頻度が高い。

ナイター設備は未整備であり、夜間使用はできない。

○ 白岩競技場

春期・秋期の土曜午後は利用頻度が高いが、その他の時間帯は低い。

○ 白岩運動広場

水曜の夜間と土曜の午前・午後は比較的利用頻度が高い。

○ 白岩弓道場

個人利用が主であり、占有しての利用頻度は低い。

○ 白岩相撲場

夏期の夜間利用が中心である。

○ 白岩ゲートボール場

市民競技団体により定期的に利用されている。

○ 白岩軽運動場

市民競技団体により定期的に利用されている。

○ その他施設

スケートボード場、トリムコース、九州オルレ武雄コース（一部）ほか

1-4 市内屋内運動場の状況

本市には、白岩体育館をはじめ、山内中央公園スポーツセンターや北方スポーツセンターなど複数の屋内運動場があります。（学校施設を除く）

施設名	構造	面積（㎡）	設置年	耐用年数
白岩体育館	R C 造	3,101	S50(1975)	47
山内中央公園スポーツセンター	R C 造	1,427	S54(1979)	47
山内中央公園武道館	S 造	749	H07(1995)	34
北方スポーツセンター	R C 造	1,396	S53(1978)	47
北方西体育館	R C 造	654	S39(1964)	47
北方東体育館	R C 造	629	S61(1986)	47

※構造：（R C 造：鉄筋コンクリート造、S 造：鉄骨造）

1-5 施設概要

(1) 白岩運動公園

所在地	武雄町大字武雄 4814 番地 他
面 積	約 190,000 ㎡（約 19ha）
主な施設	体育館、球場、競技場、運動広場、相撲場、弓道場、 ゲートボール場、軽運動場、トリムコース
開設時期	昭和 50（1975）年
駐車場	計 420 台

(2) 白岩体育館

市内で最も広い競技スペースと市内唯一の観覧席をはじめ、小競技室や会議室を備えた総合体育館として、多くの市民に親しまれています。

所在地	武雄町大字武雄 4814 番地
施設面積	3,101 ㎡
主な諸室	大競技室（1,409 ㎡・観覧席 2 階 200 席）、小競技室（424 ㎡）、 幼児体育室、会議室
開館時期	昭和 50（1975）年 11 月
施設構造	鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造）2 階建
駐 車 場	周囲 58 台

1-6 利用状況と課題整理

(1) 白岩運動公園内施設

(人)

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	【平均】
白岩運動公園				
体育館	64,554	21,472	22,635	36,220
競技場	3,954	4,579	3,120	3,884
競技場ナイター	1,434	1,326	770	1,177
運動広場	2,082	2,576	4,005	2,888
球場	2,259	1,682	2,949	2,297
弓道場	793	966	878	879
相撲場	371	384	364	373
軽運動場	40	20	80	47
ゲートボール場	-	-	-	-
計	75,487	33,005	34,801	47,764

【参考】市内の屋内運動場

(人)

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	【平均】
山内中央公園 スポーツセンター	8,061	8,472	5,927	7,487
山内中央公園 武道館	1,497	1,612	1,288	1,466
北方スポーツセンター	9,684	10,434	8,304	9,474
北方西体育館	2,179	1,836	1,747	1,921
北方東体育館	2,091	1,212	1,303	1,535
計	23,512	23,566	18,569	21,882

(2) 市内競技団体等の状況

白岩体育館を利用する本市の競技団体（チーム）は、60 を超えます。なかには大規模な大会で好成績を収めるなど顕著な実績を積み重ねている団体や個人もいます。

（参考：主な競技団体（50 音順））

合気道、空手道、剣道、新体操、スポーツウェルネス吹矢、ソフトバレーボール、太極拳(武術太極拳)、卓球、綱引、ドッジボール、バドミントン、バレーボール、バトントワーリング、フィットネス、フットサル、ミニサッカー、ミニバレーボール、ヨガ、リズムダンス など

(3) 白岩体育館の利用形態と課題

市内には学校施設も含めて大小複数の屋内運動場がありますが、白岩体育館はスポーツの場としての利用はもちろんのこと、各地域のコミュニティを形成する上でも欠かすことのできない施設として、災害時の地域防災、行事・式典など、スポーツ以外にも様々な目的で利用されています。

① 大会

【利用形態】

日頃のスポーツ技術を競う場として、学校や地区、各町対抗などの市内大会をはじめ、全国・県大会の地区予選や本選など、数多くの大会が種目別に開催されており、多くの大会が、学校や仕事の少ない休日に行われています。

大会を開催するには、同時に複数の試合を行うための競技場はもちろんのこと、観戦者や競技者が待機・休憩するための観覧席に加え、参加者数などに見合った更衣室や駐車場などの付帯設備も必要となります。そのため、市内で開催される多くの大会は、比較的施設・設備の整った白岩体育館が会場となっています。

白岩体育館における休日の稼働率は80%を超える月もあります。

【課題】

大会利用が白岩体育館に集中する現状において、その一帯の駐車場等が飽和状態になることがあります。

また、白岩体育館でもコート間に必要なスペースが確保できないため、競技によっては大会開催に苦慮することがあります。

さらに、市内の屋内運動場の競技スペースに冷房設備がなく、特に風の影響を受けやすい競技では真夏でも窓を閉め切る必要があります、熱中症対策となる冷房設備の設置を望む声が多く聞かれます。

近年は「みるスポーツ」も注目されてきていますが、市内で唯一観客席が整備されている白岩体育館でも2階に1面しかなく、快適に観戦できる環境も求められています。

利用者の声（アンケート結果より抜粋）

- 「大きな大会等が開催できるような体育館」など、広い競技場を望むとの回答がありました。
- 「広い駐車スペース」、「冷暖房の整備」などの設備や機能の面に対しての回答がありました。

② 団体（サークル、教室など）

【利用形態】

日々の健康・体力づくりや競技レベルの向上を目的とする団体利用が多くあり、仲間との交流を楽しみながら誰もが気軽に参加でき、地域総合型スポーツクラブ「さわやかクラブ武雄」*など多くの団体が活動しています。また、比較的少人数のサークルもあり、平日昼間の利用もあります。

大会利用と同様に、団体利用においても種目に応じたコートに加え、専用の設備や備品が必要となります。そのため、大会利用に比べて参加人数は少数であるものの、比較的設備が整う白岩体育館を利用する団体が多くあります。

* 総合型地域スポーツクラブ「さわやかクラブ武雄」

身近な地域でスポーツに親しむことのできる新しいタイプのスポーツクラブ。武雄市では平成 19 年に設立されて以来、子どもから高齢者まで（多世代）、様々なスポーツを愛好する方が（多種目）、それぞれの志向・レベルにあわせて参加できる（多志向）スポーツクラブとして自主的・主体的に運営されています。（会員数：422 名（令和元年 12 月現在））

【課題】

団体利用は、平日の利用が多くありますが、その時間帯には小中学校の体育館は利用できません。このため、白岩体育館に集中し、大小の競技室は利用が競合することもあります。

休日は大会利用も入るため、平日に活動することが難しい方のニーズに対応できていません。

また、子育て世代の方がスポーツに親しむ間、子どもが安全に遊べるスペースなども望まれますが、白岩体育館にその機能が十分にならないため、潜在的な利用者ニーズにも対応できていません。

利用者の声（アンケート結果より抜粋）

■ 「市民が気軽に利用できる施設」「子どもが気軽に楽しくスポーツに触れられる施設」「高齢者が憩い集える場所」「閉館時間の見直し」など、多目的な利用、多様な利用者に配慮した施設を望むとの回答がありました。

③ 個人利用

【利用形態】

個人利用の場として、子どもから高齢者まで幅広い世代から人気の高いバドミントンや卓球、スポーツウェルネス吹矢などをはじめ、運動不足の解消や日々の健康・体力づくりのための活動など、個々の生活スタイルに合わせて利用されています。

【課題】

個人練習など少人数で競技スペースを利用したいという要望も多く聞かれるところですが、現状では、稼働率や設備の面からも、個人で利用しやすい環境には至っていません。

利用者の声（アンケート結果より抜粋）

- 「誰もが自由に利用できる施設にしてほしい」など、スポーツ利用だけではなく、多目的な施設利用を望む回答がありました。
- 「個人でも気軽に使用できる施設にしてほしい」など、個人利用もしやすい環境づくりを望む回答がありました。

④ その他の利用

【利用形態】

白岩体育館の大競技場は、選挙時の開票作業会場としても使用されています。

【課題】

トイレやシャワーなどの設備が少なく、エレベーターや多目的トイレがないなどバリアフリーに対応しておらず、多様な利用に応えにくい状況です。

また、体育館機能のひとつに、大規模災害時の防災拠点としての役割も考えられますが、現在の白岩体育館は耐震機能が確保できていません。

利用者の声（アンケート結果より抜粋）

- 「誰でも使用しやすい体育館」など、バリアフリーへの対応を望む回答がありました。
- 「緊急時の避難所としての機能」などの防災機能を望む回答がありました。

(4) スポーツ競技団体へのヒアリングによる主な意見

武雄市体育協会の各種団体に、白岩運動公園や白岩体育館の利用上の問題点、要望や提案等についてヒアリング調査を行ったところ、多様な意見をいただきました。

特に、白岩運動公園については、子どもと一緒に安心して体が動かせる環境が必要との意見が聞かれました。体育館については、競技スペースへの空調整備、安全に競技が行えるコート面積の十分な確保、軽運動ができる小規模スペースの設置を求める意見などが聞かれ、駐車場については大会等開催時の混雑解消と歩行者や子どもの安全面に配慮した十分な広さの確保と配置が必要といった意見が聞かれました。

○競技団体からの主な意見（順不同）

項目	意見等
新体育館に関する こと	競技室 ・大競技室のコートが公式規格より狭い。 ・各コート間のスペース、エンドコートラインと壁との間隔が狭く、競技者の安全面に不安がある。 ・複数の競技団体が同時使用の場合、他のコートからボールが飛んでくる危険がある。 ・コートライン（各競技用ライン）のダブりがあり、色分けなどわかりやすくしてほしい。 ・大きな大会を招致できることも大切かもしれないが、年1回あるくらいの大会基準ではなく、市民が日常使いしやすい体育館であるほうがよい。 ・サブの競技室も今と同様に必要であり、さらにもう1室小人数が軽い運動で利用できる小規模の競技室があれば利用しやすくなる。 ・大会本部や役員、審査委員などが使用する部屋（小規模でも可）が競技室そばに必要。 ・床面は怪我のないよう良質なものにし、メンテナンスも十分に行うことを望む。 ・メインの競技室にはバレーボールコートで3面欲しい。 ・競技にもよるが、例えばバスケットボールなど規定のコートサイズだけでなく、その外周には安全上、一定のスペースを確保してもらったほうが良い。 ・コートが少なく大会開催にも支障があり、例えばバドミントンでいえば12面分のコートが欲しい。 ・例えば剣道競技の場合、現状8面（9m×9m）がとれても、コート間のスペースが狭くなり危険。そのため、安全な広さ

		のコート間のスペースを確保したうえで、少なくとも一般のコート規格（10m×10m）が8面確保できる競技室が必要。 ・コートラインの長辺は自然光が競技に影響しないように設置してもらいたい。 ・自然光の影響を考慮して、少なくとも1階の競技室は窓の設置は避けてもらいたい。 ・窓の設置が必要な場合、自然光を遮断するカーテンの設置をしてほしい。 ・壁の色は競技に支障が出る白色系は避けてもらいたい。 ・3団体が同時に練習できる広さ（3面）があれば、もっと利用しやすくなる。 ・コート間は防球ネットの設置をしてほしい。 ・競技スペースが充実できれば、競技者増加に取り組みたい。
	観覧席	・メインの競技室2階には4面を囲む観客席がある方が、観戦にも都合が良い。 ・観客席はメインの競技室だけで良いが、今より多く必要。 ・観覧席とフロアがつながる階段がある方が、利用しやすい。 ・エレベーターがないため、車いすや足腰の悪い方は使用が難しい。
	駐車場・駐輪場	・駐車可能台数が少ない。 ・体育館利用者だけでなく、隣接の施設の利用まで集中すると駐車場がかなり不足している。 ・バス等の大型車両が停める場所が離れていると不便。 ・歩車分離が不明確で、特に子供の飛び出しなど危険がないように整備して欲しい。
	空調・照明・放送設備	・空調（冷暖房）の整備が必要。特に夏場の熱中症対策として整備して欲しい。 ・風の影響を受ける競技もあるので、支障のない空調設備にして欲しい。 ・換気ができるような造りにしてもらいたい。 ・競技室の照明が暗く（ライト切れ、照明の間隔等）、安全確保の面からも基準の照度に達する照明にしてほしい。 ・館内各室への放送設備を設けるとともに、大会使用時などロビーも含めた館内放送ができるように整備して欲しい。

トイレ・更衣室	・トイレの数が不足している。 ・トイレは複数箇所に設置してほしい。 ・洋式トイレ設置。 ・多目的トイレが必要。 ・シューズを履いたまま履けるような大きなスリッパをおいて欲しい。 ・トイレ用擬音装置を設置してもらいたい。 ・更衣室が少ない（狭い）。 ・更衣室とシャワー室を複数箇所に設置してほしい。
会議室	・会議室は多目的に利用でき、複数あったほうが良い。 ・応接室（来賓等として）の必要性。 ・会議室は館内通路に面した配置が使用しやすい。 ・役員会や審判講習会といった研修など、スポーツ施設として会議室の必要性はある。 ・冷房がある部屋として急病人などの休憩場所に活用。 ・自由に間仕切りができる会議室にしてはどうか。
その他の施設	・競技室、観覧席、トイレ、更衣室などは履き替えなしで行けるように望む。 ・壁一面に鏡がある競技スペースをお願いしたい。 ・食事をとれるスペースが必要。 ・器具庫を広くして、出し入れしやすくする。 ・競技毎の備品を整理できる棚やスペースを整備して欲しい。 ・トイレの手洗いと別の手洗い、洗面場の設置。 ・スポーツ団体が発信したい情報や希望者が得たい情報がマッチングできる情報コーナー、掲示板、サイネージの設置。 ・2階部分に観覧席4面を配置することで、その外周（通路）をランニングコースにできれば利用の幅が広がる。（ウォーミングアップや雨天時の利用など） ・ステージを新たに設置するよりは、2階に4面の観客席を整備するなど、できる限り体育館機能を充実して欲しい。 ・ニュースポーツ、パラスポーツができる設備 ・親が子どもを視認できるエリアへのキッズスペース（子どもの遊び場）があれば助かる。 ・トレーニングルーム、トレーニング機器の整備。 ・トレーニング機器が備えた公共の体育館もあるが、民間施設もあるため新体育館に必要性は感じない。

	・各種教室や軽く体を動かせるスタジオ的な部屋の設置。 ・軽食が取れるスペース、食堂 ・喫茶や食堂までは必要なく、自動販売機があれば十分。 ・ロビーには、椅子・テーブルをおいて、食事を自由にとれる休憩コーナーを設けて欲しい。 ・人の出入りに余裕がもてるよう、ロビーを広くしてほしい。 ・バレエバーの設置をしてほしい。 ・水筒用の冷水器を設置してほしい。 ・練習などの迎えて、子どもたちを待つ時間を過ごせる場所があれば助かる。 ・とにかく大きな体育館にして欲しい。
運用面	・ラインテープをはがす際、乱雑にはがされることがあり、床の傷みにつながっている。 ・バスケットボールのゴールが無いので競技できない。 ・各競技団体用備品保管スペースの確保を望む。 ・用具等に関し、バレーボール用ボールの軽量化。 ・照明を全灯してもらえないのを改善してもらいたい。 ・日程によっては使用予約がとりにくい。 ・予約がやや既得権化しているのか、新しい団体などは特に予約がとりにくい。 ・新しい体育館となることで、予約等が競合して利用しづらくなる心配があり、そういう意味では今の施設のままだ方が予約も取りやすいので助かっている。 ・道具を忘れた時や急に思い立った時、立ち寄った時に体を動かせるように貸し道具や売店（ショップ）があれば助かる。 ・新しい体育館になっても、現在の料金を据え置いて欲しい。 ・利用回数券があれば、毎回支払いの必要がなくなる。 ・空調整備を望むが、その利用においては全てを利用するとは限らないため、1基ごとの料金設定をしてもらいたい。 ・空調の使用料は、できるだけ安価であってほしい。 ・大会の横断幕（第〇回〇〇大会）などが掲示できる場所を設置してもらいたい。さらに、有料でもよいので、横断幕自体をプリントしたり掲示するサービスまでであると嬉しい。

新体育館を含めて その周辺整備において 望むこと	・ 想定利用者、観客に対応できる駐車スペースの確保。 ・ 白岩運動公園に出入りする市道・県道との交差点の渋滞緩和。特に右折車両がスムーズに流れる手立てが必要。 ・ 幼児や子どもが遊びを通して、運動能力の向上や身体づくりができるスペース、遊具等があれば親子で利用しやすい。 ・ 天気の良い日に弁当をもって親子で訪れたいような屋外広場の整備とこれが見渡せる日よけスペース。 ・ 夜の利用も考慮し、外灯を設置してほしい。 ・ 木陰を増やしてもらいたい。
---	--

(5) 武雄市公園利用に関するアンケート（抜粋）：平成 27 年度実施

○公園の利用や整備に関し、日頃感じたり、思ったりしていることなど自由意見

- ・ 子どもが遊べる広場（公園）が無い
- ・ 身近に公園が無い
- ・ ゆったりできる公園が無い
- ・ 子どもが遊ぶのを見守れる所にベンチ
- ・ 日かげが必要
- ・ 子どもも大人も 1 日遊べる大きな公園、施設、遊具がほしい
- ・ 水遊びができる場がほしい
- ・ 草スキーができるところがほしい
- ・ 雨天時でも遊べる屋内施設がほしい
- ・ 遊具の設置、更新、定期点検が必要
- ・ トイレの整備・洋式化・衛生管理が必要
- ・ オムツ交換できるトイレ（スペース）が無い
- ・ 園内のトイレの場所が遠い（道路横断など危険）
- ・ 手洗い場の充実が必要
- ・ 草刈りの管理ができていない
- ・ 駐車場が少ない（無い）
- ・ 防犯上の措置（休憩所に寝ている大人がいて怖い（利用しづらい））

(6) 白岩体育館利用者アンケート（抜粋）：平成 30 年度

○白岩体育館について

照明が暗い 22%、駐車場が狭い 21%、立地条件がよい 17%、競技スペースが十分 15%、競技室が狭い 7%、バリアフリーが不十分 4%、設備がそろっている 2%、その他 12%

（空調関係がほしい・洋式トイレが少ない・夏場暑いので扇風機等がほしい・観客席が狭い・競技室が少ない・キッズルーム・備品（ネット）の不備・照明が暗いので早めに点灯してほしい・駐車場の水はけが悪い（北側）・風通しが悪い）

○今後の体育館にあってほしい機能

冷暖房空調 29%、トレーニングルーム 16%、シャワー室 15%、プロスポーツや大規模大会ができる広さや設備 11%、バリアフリーの充実 9%、緊急時避難施設としての機能充実 9%、研修室 4%、キッズルーム 3%、ランニングコース（室内）3%、その他 1%

（階段のすべり止め・駐輪場はわかりやすいところに設置してほしい・山が近いので夏場の虫よけ対策・プール・温泉）

○自由意見

- ・シャワー設備がほしい
- ・窓を開けれるように網戸をつけてほしい
- ・22 時 15 分閉館にしてほしい
- ・倉庫、競技場の出入口の扉が重いので、体の小さい子供の開閉が危険
- ・ステージを設置してほしい
- ・文化、スポーツの町として、文化会館と体育館を併設してほしい
- ・個人使用時の料金が安いので助かっており、このままの料金を維持してほしい
- ・いつも清掃が行き届いて気持ちよく使用している
- ・施設の老朽化がひどいので、早い建替えか移転が必要ではないか
- ・駐車場を広くしてもらいたい
- ・夏は冷房がないと心配だが、空調があると発表会の時期も心配にならない
- ・市外の団体利用により、市内の個人利用に制限を感じている。特に近隣体育館ではフットサルをできるところがなく、利用料が安いので集中しているように感じており、改善をお願いしたい
- ・照明を充実して欲しい
- ・天井の掃除をして欲しい
- ・各競技に対するプロの指導が不足しているように思う
- ・筋トレ用具等の環境を整備して欲しい
- ・イベントが誘致できる、空調設備や駐車場が必要。イベントはフットサルの公式競技ができる規模が必要

(7) 白岩運動公園についてのアンケート（抜粋）：平成 31 年度（令和元年度）実施

○今の白岩体育館より充実してほしい機能

駐車台数 20%、大会開催に対応しやすい広さや観覧機能 19%、更衣室設備 14%、客席数 12%、練習しやすい備品設備 11%、ユニバーサルデザイン 7%、競技できる種目 5%、音響 4%、会議室 3%、その他 5%

（トレーニングルーム／スポーツジム（ジム器具）／照明の充実／カーテンが必要な設備／グループ活動がしやすいように、運動できる部屋を多めに作って貸し出してもらいたい／安価な宿泊場所／空調／避難所等としての防災利用、災害時の備え／幅広い年代でスポーツを楽しめる機能や設備／競技室を広く／剣道は今までのようにできるように／低料金、会員制なしのフィットネスジム／トイレをきれいに／シャワー室／客席の一部で卓球できるように／利用したことがない／特に必要性を感じていない）

○今後の体育館にはどのような機能の充実が求められるか

避難所活用など防災機能 24%、多目的利用ができる設備機能 17%、トレーニングができる機能 15%、売店やカフェによる休憩機能 11%、空調設備など競技室の利用機能 11%、キッズコーナーなど子育て世代への支援機能 10%、ランニングコースなどウォーミングアップできる機能 8%、相談室や研修室などミーティング機能 4%

○新しい体育館はどのようなことが重要か

緊急時に避難所等として使用できること 33%、スポーツ以外にも多目的に利用できること 23%、気軽に楽しめるスポーツができること 22%、大きな大会で利用できること 13%、白岩運動公園との一体性があること 8%、その他 1%

（ライブハウス＆コンサートホールの機能／視覚に障害があるため、目が悪くても使用できるように。段差が多すぎるのでこわい。）

○新しい白岩体育館や白岩運動公園に期待することなど自由意見

スポーツをする、しないに関わらず、市民が気軽に立ち寄れる憩いの場／芝生公園／関連書籍の紹介など図書館との連携、相乗効果で文武両道を目指せる場／市民すべての人が利用できるような受け入れ／もっと市民が気軽に、安心して利用できる施設／鹿島市や嬉野市の様に大きな大会及び練習場／バリアフリーで誰でも使用しやすい体育館や公園に／スポーツは勿論、文化イベントを視野に入れた施設／プロの試合が出来るような施設／大人がトレーニングできるような器具／健康・ストレッチ器具等の配備／ソリ等の道具貸し出し／プロスポーツ選手や学生スポーツの合宿機能／子供が楽しく自由にスポーツできる施設／障がい者が一人でも立ち寄れる環境と雰囲気づくり／運動したくなる様な運動公園／老若男女、障害の有無やスポーツの得手不得手関係なく、スポーツを楽しめる公共施設／高齢者が憩い集える場所／日暮れでも散策等ができるような安全な場所／子供たちが

気軽に色々なスポーツにふれられるような設備／サークル募集や大会告知など情報交換がしやすい環境／会議が出来る部屋／ダンスの出来る音響設備／ランニング・ウォーキング・クロスカントリーコース／トリムコースはトレーニング志向が高い／スポーツ以外で地域コミュニティに貢献できる空間／市民プール／サイクリングロード／スケボーエリア／人工芝サッカーコートを作ってほしい／ほとんどの人は使っておらず、無駄な税金を投入しないでそのままでよい／利用者以外の無断駐車対策をお願いする／駐車台数を増やしてほしい／各種スポーツの普及／ユーティリティに優れた施設／いろいろな種目ができる設備／数試合が一度にできる広さ／巡回バスの運行／競技場トラック整備も同時進行してはどうか／新体育館を冠水時の新たな避難所として加えてもらいたい／新体育館をただ整備するだけではなく、その必要性や利用性、維持費などを十分考えてほしい／少人数、短時間利用にも対応できる体育館機能／水はけの良いグラウンド／駐車場が不足するため体育館は公園と一体とせず別場所を考えてほしい／歩ける距離にコンビニが必要／耐震／各町の防災対策／伝統も大切とばかり言っていると情けない／ゴムチップ舗装／大型遊具／売店やカフェの併設と雇用創出／安い利用料金の設定（高齢者は無料とするなど）／空調整備／今より広くて利用しやすい観覧席／シャワー室の整備／体育館と公園が一体的に楽しめる利用ができるように／明るいイメージの体育館／期待していない／民間委託をしてはどうか／消費カロリー表示など運動したくなるような公園がほしい。市役所の皆さんももっとリサーチをしてください／税金を使うのですから、使用料は無料が当たり前／平均寿命より健康寿命が大事であり、施設整備だけではなくそのためのサポートも必要／運動や健康に対する市民の意識向上／スポーツをみるイベントも多く開催してほしい／自然と、もっと運動したいと思える施設であってほしい／子育て世代への支援機能が備わった施設やイベント開催／支援センターなどは土日祝が開いていないので不便／とにかく存在感が無いので看板の工夫や駐車場の整備等、見える部分の改善をしてはどうか／古かったので新しくなるだけで新鮮／北方支所跡もジムや軽運動ができるようにしてほしい／トイレなどもっときれいに掃除してもらいたい／明るくて複数のトイレ／剣道で、特に若者の精神修業ができたと思います／野外フェスや音楽などの企画／あたらしくスポーツをする人が相談できたり、クラブ等へ紹介してもらえる機関／18 時以降から活動するサークル等を増やしてほしい／子どもたちが楽しく、いろいろなスポーツにチャレンジできる環境／サブグラウンドの照明／インターネット利用等による使用申請の簡素化／メンテナンスさえしていれば良い／災害時への適応／ロビーや玄関を明るく広くしてほしい／白岩運動公園を平坦化して広げることで利用しやすくなる／車道が狭い／遠い／体育館・競技場・野球場の全部が一カ所（武雄町）にあったほうが良い／外出の中心的存在となるよう期待

第2章 白岩運動公園に求められるもの

2-1 強化・改善するもの

① 公園機能

これまでスポーツに興味や関心のなかった人も気軽に訪れ、交流し、スポーツに触れ合うきっかけともなるよう、子どもの遊び場や広場など、施設内外の環境整備において容易に多目的な利用ができるような工夫をする必要があります。

② 駐車場

大会開催等を見据えた必要な駐車スペースを確保することが求められます。

③ ユニバーサルデザイン

市民誰もが快適に公園を利用できるユニバーサルデザインの強化が必要です。

④ ゾーニングと動線の見直し

公園内の各施設やゾーンとのつながりを強化することで、利便性の向上を図る必要があります。

2-2 新たに加えるもの

① ランドマーク*となるゾーン整備

公園内機能を見直し、ゾーニングを見直すなどにより、誰もが訪れやすく、訪れたいくなる 新たなゾーンとしての整備が求められます。

*ランドマークとは、目印や特徴物を指します。

② 防災公園としての機能

防災公園としての機能、設備等を新たに確保する必要があります。

第3章 新体育館に求められるもの

3-1 継承するもの

① 競技場、観覧席

白岩体育館をはじめとする屋内運動場における、市民のスポーツ活動のニーズを満たす役割が求められます。

② スポーツ以外の行催事利用への対応

市民生活に必要な事業（健康診断等）にも対応できる機能が求められます。

3-2 強化・改善するもの

① 市内唯一の総合体育館*としての機能

市内唯一の総合体育館として期待される役割もふまえ、更に相応しい規模と設備、サービスの提供が必要です。

* 総合体育館

一般的に、アリーナ（競技場・観覧席）、武道場、多目的室、トレーニング室など、複数の機能を備えた屋内スポーツ施設の総称です。

② 競技場

大会開催の際には、競技によってコート間に選手用ベンチを置くなどのスペース確保の必要性があるなど、より広い競技場の床面積の確保が求められます。

また、より多くの市民が多目的に利用できるよう設備の工夫が必要です。

③ 観覧席

市内の屋内運動場で興行試合などは開催されていませんが、トップアスリートのハイレベルなプレーの観戦を通じて、子どもに夢や希望を与えられる環境も求められます。また、今後さらなる需要が見込まれる「みるスポーツ」の観点からも、観戦、応援しやすい十分な観覧スペースを確保するとともに、大会誘致などにも更に取り組む必要があります。

④ 駐車場

駐車スペースを十分に確保することで、大会開催時等の駐車場不足を改善します。

⑤ ユニバーサルデザイン

障がい者・高齢者・妊婦・乳幼児・性別に関わらず、誰もが快適に施設を利用できるよう、エレベーターや多目的トイレに加え、冷房設備の設置など、ユニバーサルデザインの強化が求められます。

⑥ 防災拠点

災害時における避難所機能、救助・救命活動への支援を行う警察・消防・自衛隊の部隊の展開、宿営等の拠点および支援物資の集積等の拠点としての役割が求められます。

⑦ 各種機能

更衣室や会議室など、その他の各諸室における環境改善が求められます。

3-3 新たに加えるもの

① 多目的に利用できる機能

これまでスポーツに興味や関心のなかった人も気軽に訪れ、交流し、スポーツに触れ合うきっかけともなるよう、施設内外の環境整備において工夫する必要があります。

また、夏季における熱中症対策などによる安全な利用や諸室の設備、備品を充実していくことで、利用意欲の向上、多目的な利用がしやすい環境づくりが求められます。

② 周辺の施設・空間との連携

立地特性を活かし、本施設の賑わいを周辺施設にも波及させ、白岩運動公園内の活性化や周辺エリアとの回遊性の向上につなげていく必要があります。

公園内の施設や近隣エリアと調和・連携がとれた施設整備と事業展開が求められます。

③ 災害時の防災機能の付加

災害時の拠点としての役割を果たせる機能が求められます。

第4章 基本理念

本計画の基本理念を次のとおり定め、「新たなまちの賑わいの創造」や「新しいスポーツ文化の創造」を目指し、次章以降において白岩運動公園および新体育館の整備に向けて計画します。

「スポーツとくつろぎの融合」

第5章 白岩運動公園のコンセプト

5-1 白岩運動公園のコンセプト

「みんなにやさしい開かれた空間」

令和4年に九州新幹線西九州ルートが暫定開業します。近隣の武雄市文化会館や武雄市図書館・歴史資料館、武雄競輪場、武雄温泉駅など魅力ある空間の中継地として、相乗効果を生み出すことのできる立地特性を十分に活かし、公園の賑わいを周辺エリアにも波及させ、新たな賑わいの創出を目指します。

○まちに開かれ、賑わいがあふれる空間

- ・まちの活性化や回遊性の向上に好影響を与えるひとつの場所として、そこに人々が気軽に集い、出会い、ふれあい、つながる交流空間をつくります。

○家族も仲間もひとりでも、1日過ごせる楽しみがある空間

- ・市民が生涯にわたり、いつでも、だれとでも、それぞれの時間の楽しみ方が広がる空間をつくります。

○もしもの災害にも、市民に寄り添う空間

- ・災害が発生したときの拠点となる空間をつくります。

第6章 新体育館のコンセプト

6-1 新体育館のコンセプト

「スポーツから新たなシーンが始まる体育館」

市民誰もがいきいきと暮らすことができるよう、「する」・「みる」・「支える」スポーツと健康づくりの活動拠点として整備するとともに、気軽に訪れ交流できる憩いの場として、また、防災拠点としての機能など、様々な側面から市民生活をサポートする環境を目指します。

併せて、白岩運動公園内の各施設との相乗効果を生み出すような事業展開を図ること、利活用においても新たな体育館のあり方を目指します。

○みんなの1歩を呼び起こす、きっかけが見つかる体育館

- ・年齢や体力、経験に関係なく、スポーツに触れたり体験し、生活の中にスポーツを無理なく取り入れ続けることで、健康で幸せな生活を送ることができる環境を整備します。

○スポーツによる新たな文化が始まる、楽しい体育館

- ・ハイレベルの大会から市内大会まで、大小様々な競技スポーツ大会を開催、観戦できる環境を整備します。

○市民生活のあらゆる側面をサポートする、使いやすい体育館

- ・災害が発生したときの避難所、救命・救助活動等の拠点としての機能を整備します。
- ・ユニバーサルデザインに配慮し、様々な目的で訪れる市民の憩いや交流の場にもなるよう、オープンスペースや駐車場を十分に確保します。

第7章 白岩運動公園に充実する機能

7-1 憩い・交流機能

- ・多くの市民が気軽に訪れ、交流することができるよう、近接するエリアとのつながりを意識した敷地整備を図ります。
- ・スポーツ利用者だけでなく、だれもが自由に休憩などができたり、イベントもできる場所として、緑の広場等を整備します。また、公園機能を活性化させる健康増進施設等、民間資本の誘致にも取り組みます。

7-2 駐車場

- ・白岩体育館の利用者に対応できる駐車場を新たに確保します。
- ・その他、競技場や相撲場、運動広場が位置するエリアの利用者も使いやすい駐車場の整備に取り組みます。

7-3 防災関連機能

- ・防災トイレ、災害支援型や AED 付きの自動販売機等の導入を進めるなど、市の防災拠点を担う防災公園としても利用できる機能の充実を図ります。

7-4 トリムコース

- ・競技前のウォーミングアップや日々の健康づくりや九州オルレ武雄コースとしても、気軽に利用できるよう整備していきます。

第8章 新体育館に充実する機能

8-1 メインアリーナ

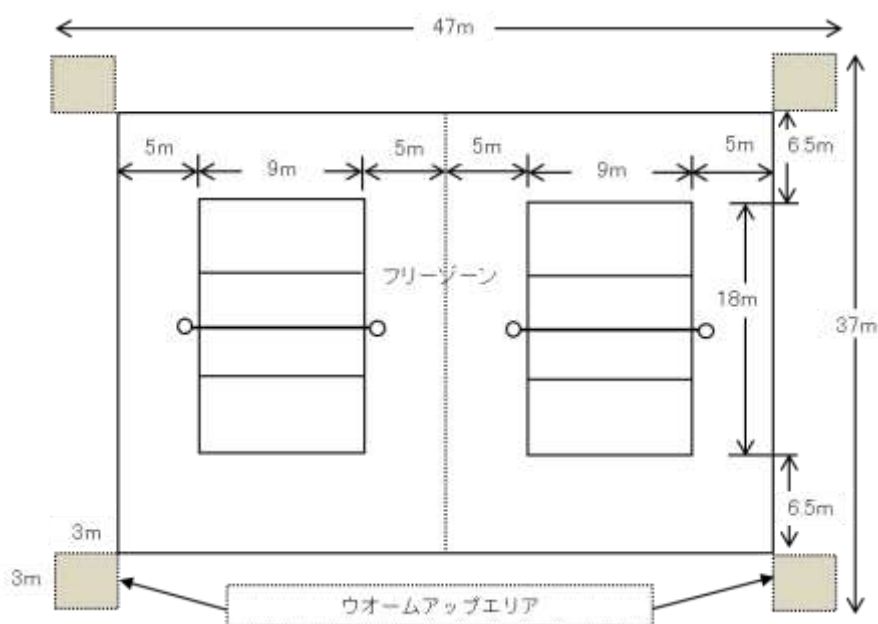
- ・大規模なスポーツ大会のメイン会場や日常的なサークル活動、各種教室の場となるため、多目的な利用を考慮した広さを確保します。
- ・天井高は国際バレーボール連盟や日本バレーボール協会主催試合の規格を確保します。
- ・空調設備（冷房設備）や照明設備は、競技環境に十分配慮して整備します。
- ・電気配線、コンセント類は、大会開催時の利便性に十分配慮します。
- ・防護ネットを設け、多様な競技利用に配慮した設計とします。
- ・利用者の負傷の恐れが少ない床材とします。

≪メインアリーナの競技別利用イメージ（設計により変更あり）≫

【例1】 バレーボール（9人制・女子）：2面 （センターコート利用時：1面）

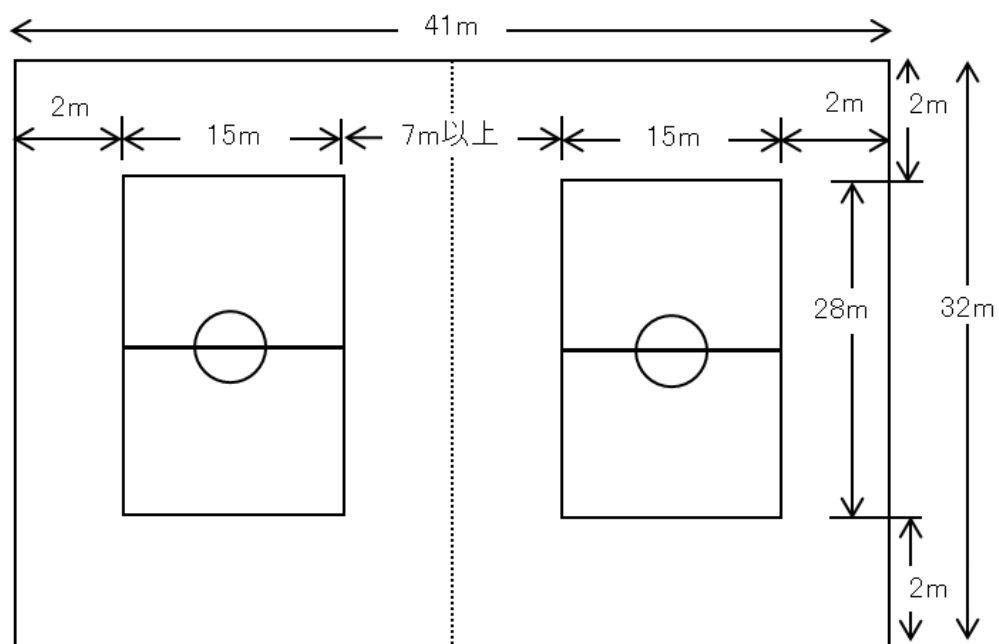
高さ：12.5m 以上

（参考：国民スポーツ大会競技施設基準）



【例2】 バスケットボール 2面 （センターコート利用時：1面）

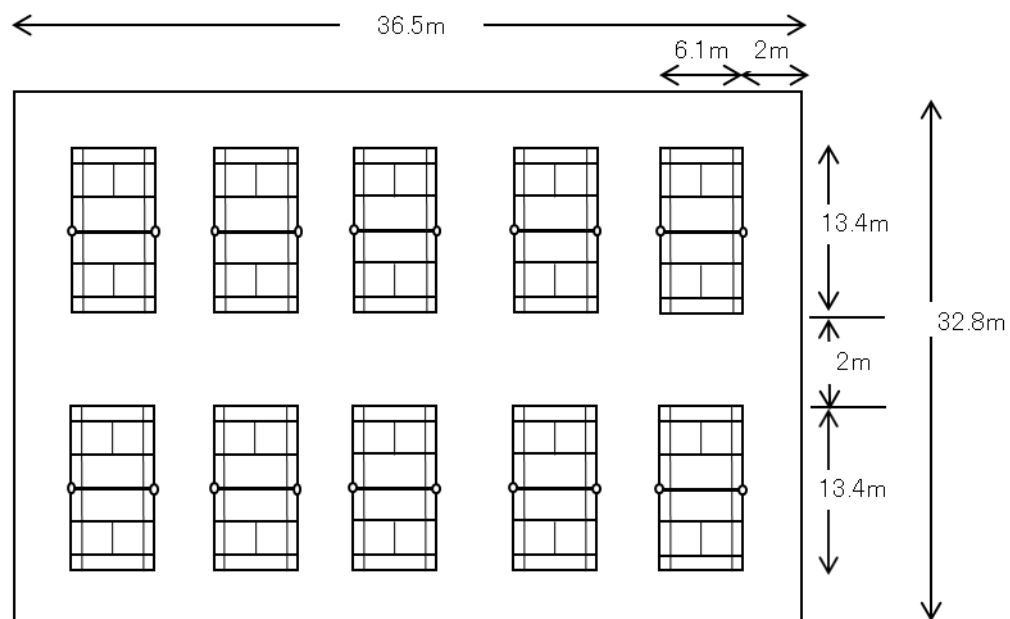
（参考：国民スポーツ大会競技施設基準）



【例3】 バドミントン 10面

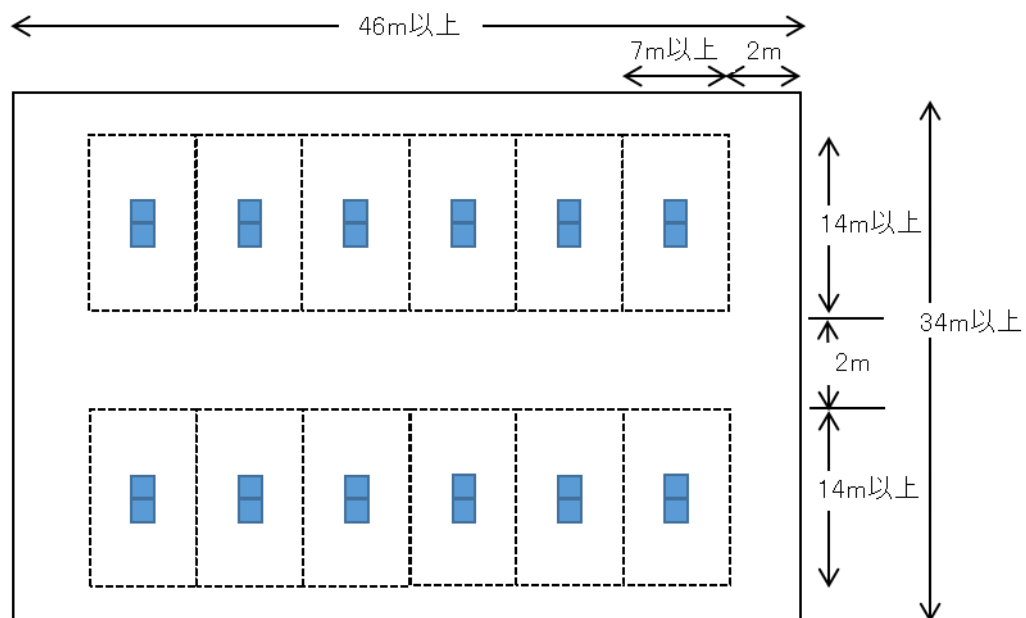
高さ：12m以上

（参考：国民スポーツ大会競技施設基準）



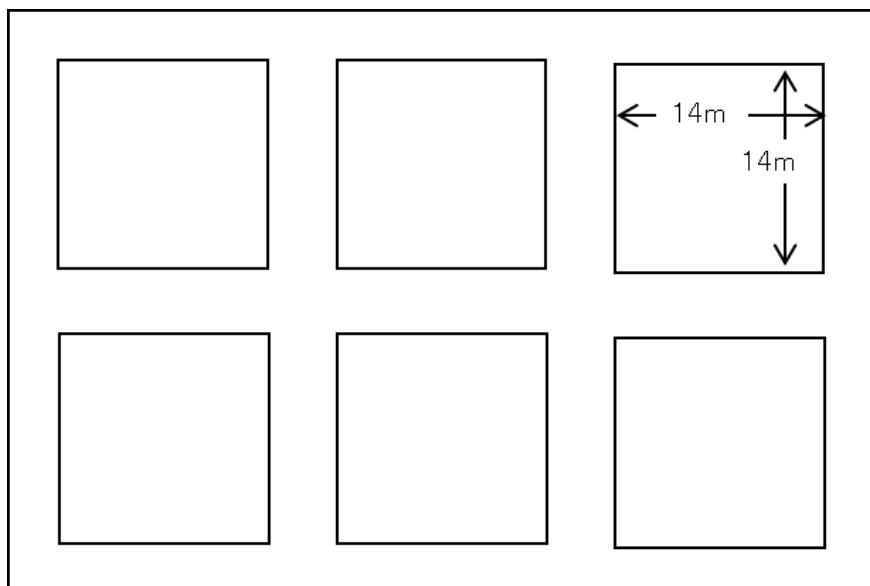
【例4】卓球 12面
高さ：4m以上

(参考：国民スポーツ大会競技施設基準)



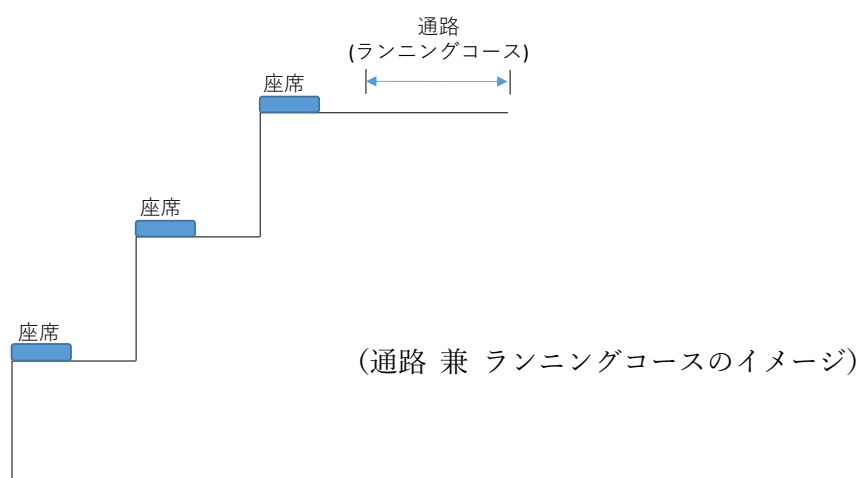
【例5】剣道、柔道、空手道 6面

(参考：国民スポーツ大会競技施設基準)



8-2 メインアリーナ 2 階観覧席

- ・応援や観覧する場所であるとともに、競技者が休憩したり待機する場所となるもので、4 面・約 500 人（現・白岩体育館固定席 1 面・200 席）を収容でき、臨場感のある観客席とします。
- ・車いす等歩行が困難な方に配慮した席、動線を確保します。
- ・参加選手が競技場と観覧席（待機場所）をスムーズに行き来できるような、動線に配慮します。
- ・観覧席やメインアリーナの利用が無いとき、観覧席外周の通路は雨天・夜間時のランニング利用を想定するなど、設計において検討します。



8-3 サブアリーナ

- ・サークル活動や各種教室の場など多目的な利用ができる機能を確保します。
- ・空調設備（冷房設備）や照明設備は、競技環境に十分配慮して整備します。
- ・電気配線、コンセント類は、利便性に十分配慮します。
- ・防護ネットを設けることで、多様な競技利用に配慮した設計とします。
- ・利用者の負傷の恐れが少ない床材とします。
- ・壁 1 面の鏡設置や音楽使用に対応できるように音響や照明等にも配慮することで、ヨガ、太極拳、エアロビクス、ズンバ等のフィットネススタジオ（多目的室）としても利用できる仕様とします。

8-4 軽スポーツルーム

- ・スポーツの経験があまりなかったり、スポーツからしばらく遠ざかっていたりしている人を含め、それぞれの目的や体力に合わせてだれもが少人数でも気軽に健康・体力づくりができ、スポーツを始めるきっかけにもつながるよう、軽スポーツルームを設置します。
- ・移動式の鏡の設置や音響や照明等にも配慮し、トレーニングや各種ニュースポーツなどへのニーズに対応した仕様とします。
- ・利用者の負傷の恐れが少ない床材とします。

8-5 会議室

- ・競技大会、イベントの運営会議や各種研修会をはじめ、体育館を拠点に活動する自主グループの会合や各種教室、医務室としての機能など、様々な用途で利用できる会議室を設置します。
- ・大会開催時には本部室や控室などにも利用できるようにするため、メインアリーナとサブアリーナがスムーズに移動できる配置を検討します。

8-6 こどもスポーツルーム

- ・乳幼児や児童が安全に遊び、自由に体を動かしながら基本的な運動能力を養うことができる、こどもスポーツルームを設置します。
- ・子育て世代の利用者が快適にスポーツに親しむことができるよう、間仕切り等の工夫による授乳室の確保や、親子ともに自然とスポーツに触れ合い、交流できる環境を施設まわりの公園整備と合わせて検討します。

8-7 その他の機能

① ラウンジスペース

- ・競技者や観戦者などが、自由に待機したり休憩する場所として、また、スポーツ利用だけではなく、多くの市民が気軽に訪れ、交流することができるよう、開放的なラウンジスペースを設置します。
- ・椅子やテーブル、自動販売機コーナーを設置するなど、飲食もできるスペースとします。

② 情報コーナー

- ・館内動線や諸室との位置関係を考慮しながら、だれもがスポーツに関する情報を発信しやすく、情報を得やすいスペースとします。

- ③ 更衣室、シャワー室、ロッカールーム
 - ・障がい者・高齢者・妊婦・乳幼児・性別に関わらず、利用者の誰もが安全で使いやすいように配慮した明るく清潔感のある更衣室、シャワー室を設置します。
 - ・利用者に応じたロッカーを設置して貸し出すとともに、サークル活動にも配慮したスポーツ用具等も収納できるサイズのロッカーを設置します。
- ④ トイレ
 - ・諸室の位置や利用者に配慮したトイレの規模や数、多目的トイレを設置します。
- ⑤ 放送室
 - ・大会開催時や音響使用時に必要となる放送機能を持つ放送室を設置します。
- ⑥ 器具庫
 - ・諸室の規模や配備する器具、備品類を考慮したスペースを確保します。
 - ・競技スペースに面した場所に設置しながらも、外部からのスムーズな搬入路が確保できるなど、使い勝手のよい配置とします。
- ⑦ エレベーター
 - ・諸室との動線や関係性等に配慮した場所に設置します。
- ⑧ 駐車場、駐輪場
 - ・荷物の積み下ろしができる一時駐車スペース、車寄せスペースや、車いす利用者等の専用駐車場（パーキングパーミット）を十分に確保します。
 - ・歩行者動線を考慮した駐輪場を整備します。
- ⑨ 多目的機能
 - ・市民生活に必要なスポーツ以外の行催事（健康診断等）に応えることができる諸室を設置します。
 - ・手ぶらで来ても身体を動かすことができるなどの機能整備を検討します。
- ⑩ 無料公衆無線 LAN
 - ・無料公衆無線 LAN（フリーwi-fi）を整備し、タイムリーな情報の送受信ができる環境をつくれます。
- ⑪ 防災機能
 - ・耐震や防災機能（非常用電源設置等）を考慮した施設とします。

第9章 基本指標

9-1 想定人口（人口推計）

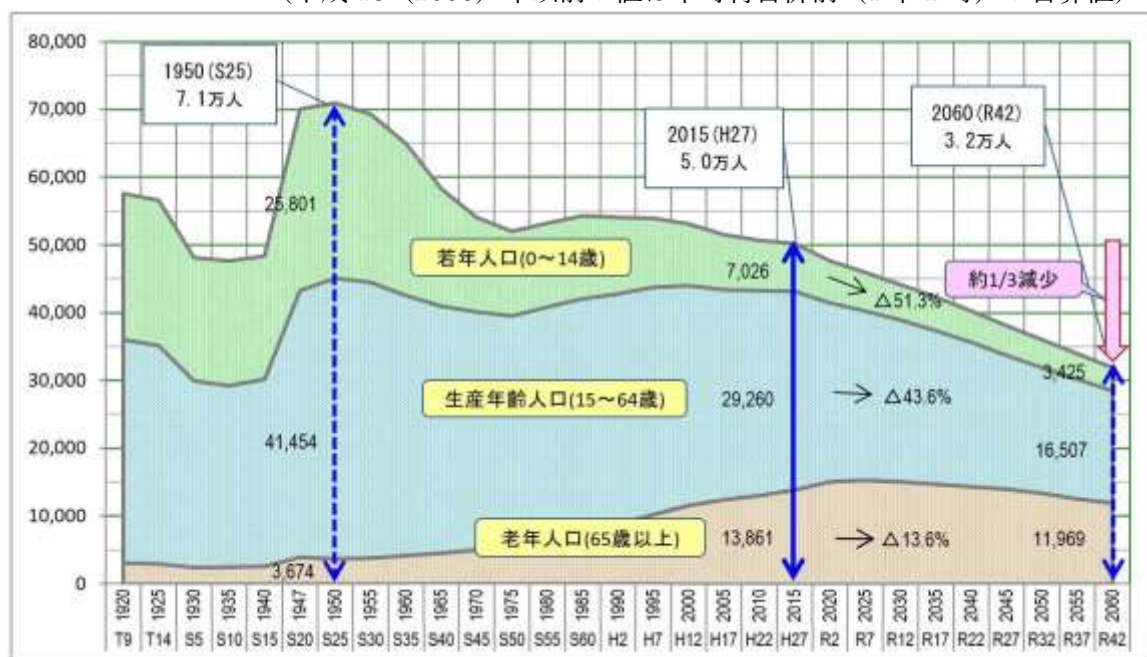
本市の人口は、昭和25年にピークを迎え、以降、昭和50年代から一時的に増加しましたが、全体としては現在まで減少傾向が続いています。さらに、国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、令和42（2060）年度（40年後）の武雄市の人口は、現在から約3分の1減少し、約3.2万人になると見込まれています。（図1）

内訳をみると、若年人口（0～14歳）及び生産年齢人口（15～64歳）の減少が進んでいる一方、老年人口（65歳以上）は増え続けており、現状では少子高齢化と人口減少がゆるやかに進行しているものの、老年人口が減少に転じる令和7（2025）年以降は、本格的な人口減少時代を迎える見込みです。

こうした人口減や老年人口の増加が見込まれていることをふまえた施設利用を考えます。

図1：総人口・年齢3区分別人口の推移と将来推計

（平成18（2006）年以前の値は市町村合併前（1市2町）の合算値）



（出典：武雄市公共施設等総合管理計画）

9-2 新体育館の指標

(1) 利用予測

大会利用等における会場の設営や準備に要する時間としての早朝利用など、弾力的な開放も想定しながら利用者を予想します。

休日は大会開催、平日はサークル活動等の利用が夜間を含めて主に見込まれます。現在の白岩体育館の利用人数を参考に、新体育館の利用者数を想定します。

○年間想定利用者数（白岩体育館実績は利用申請による）

		新体育館 (想定)	白岩体育館 (H30 実績)
各 諸 室	メインアリーナ・観客席（大競技室／団体利用）	14,000 人	11,363 人
	サブアリーナ（小競技室／団体利用）	6,000 人	4,366 人
	個人利用（大人）	6,000 人	4,970 人
	個人利用（子ども（児童・生徒））	3,000 人	1,936 人
	会議室	1,000 人	—
	軽スポーツルーム ※新規	1,000 人	未整備
	屋内ランニングスペース ※新規	600 人	未整備
	こどもスポーツルーム（幼児体育室）	300 人	—
計		31,900 人	22,635 人

※白岩体育館における個人利用の区分（大競技室、小競技室）、会議室、幼児体育室は未集計。現施設の利用者数は使用料減免による団体・個人等を含まず。

(2) 想定する大会の規模

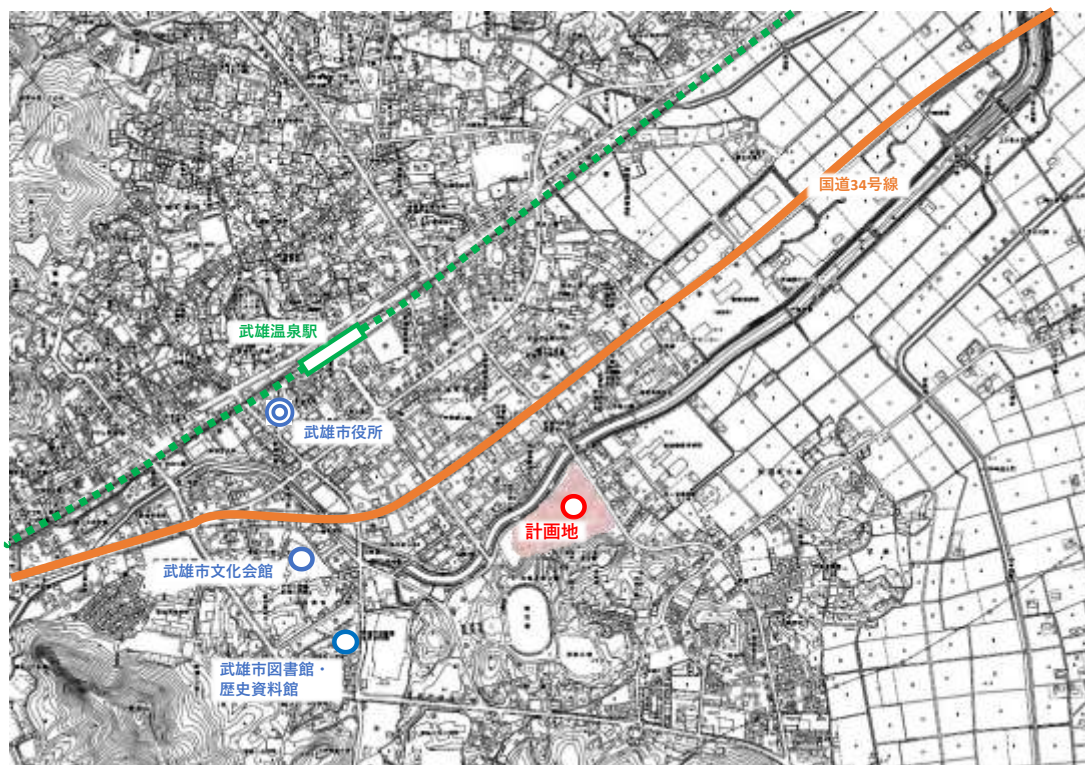
白岩体育館における最大規模の大会である県民スポーツ大会や市民体育大会の実績で想定します。

第10章 新体育館計画地とその周辺環境整備

10-1 新体育館計画地

白岩体育館は運動公園を管理する上で中心的な役割を担っており、市内最大規模の屋内運動施設で利用者数も多いことから、新体育館整備にあたっては市の中心部の一角に位置し、交通アクセスに優れている白岩運動公園(白岩球場敷地内)とします。

新体育館整備は、現在の白岩球場敷地内とします。



- ・所在地 武雄市武雄町大字武雄 4814 番地 他
- ・現況 白岩運動公園（都市公園）
- ・敷地面積 約 190,000 m²（約 19ha）
- ・アクセス 武雄温泉駅から約 1km
- ・周辺環境 徒歩圏内に武雄市文化会館、武雄市図書館・歴史資料館、武雄競輪場、武雄市役所、武雄温泉駅等が立地

10-2 環境整備

(1) ゾーニング

白岩運動公園のゾーニングは次のとおりとします。

整備想定エリア（図中 赤点線部分内）には、新体育館や広場、駐車場等を整備します。



(2) 公園内動線計画

競技場、相撲場、運動広場等が位置する公園内上段のエリアと、体育館、軽運動場等が位置する公園内下段のエリアとの往来や、駐車場から各施設とのつながりを良くするための整備を行います。

第1章 整備計画

1-1 新体育館の仕様

- ・武雄市公共施設等個別施設計画（スポーツ施設編）に基づき、白岩体育館と北方西体育館が今後も担うべき機能を新体育館に集約（既存施設は除却）することで、本市が保有する公共施設の総量の最適化を図ります。
- ・整備にあたっては、現在のスポーツ需要を満たしつつも、将来の人口構成や施設利用需要の変化、多様化への備えから、過大な費用の投入とならないよう、実情に応じた整備、改修などを行うとともに、維持管理費の軽減を講じます。
- ・将来にわたり、安全で快適な利用が継続していくよう、適正な維持管理や修繕、定期的な改修を行うことで、施設の長寿命化を図ります。
- ・省エネルギーや環境負荷軽減に配慮し、低コストの維持管理を目指します。
- ・備品の購入や入れ替えなどにおいては、既存備品類を整理し、計画的に実施していきます。

1-2 新体育館の配置計画

新体育館は、利用者の利便性などを勘案して配置します。

新体育館の周りには緑地帯（芝生広場等）や近接する駐車場（約 100 台想定）等を整備します。

1-3 新体育館の想定床面積

新体育館における各諸室が担う機能を満たすために必要と考えられる床面積は、集約する白岩体育館と北方西体育館それぞれの延床面積から、次のように想定します。

(1) 想定床面積

白岩体育館と北方西体育館を集約し、新体育館の規模は3,700㎡以内とします。

(2) 各諸室の想定床面積

(参考：武雄市白岩運動公園体育施設整備に係る基礎調査)

諸室等	新体育館	【参考】 白岩体育館
メインアリーナ (1 階)	約 1,450 m ²	1,409 m ² (大競技室)
メインアリーナ 2 階観客席	約 400 m ²	216 m ²
サブアリーナ (1 階)	約 450 m ²	424 m ² (小競技室)
軽スポーツルーム (1 階)	約 80 m ²	—
会議室	約 80 m ²	72 m ² (1 階) 36 m ² (2 階)
こどもスポーツルーム (1 階)	約 45 m ²	54 m ² (幼児体育室)
ロビー・ラウンジ (1 階)	約 220 m ²	216 m ²
更衣室 (1 階・計)	約 80 m ²	72 m ²
トイレ (1 階・計)	約 50 m ²	36 m ²
多目的トイレ (1 階)	約 5 m ²	—
トイレ (2 階)	約 30 m ²	—
シャワー (1 階・計)	約 30 m ²	34 m ²
放送室 (1 階)	約 30 m ²	34 m ²
器具庫 1 (1 階)	約 220 m ²	201 m ²
器具庫 2 (1 階)	約 50 m ²	63 m ²
機械室	約 90 m ²	24 m ²
事務室 (1 階)	約 60 m ²	72 m ²
その他	約 330 m ²	138 m ²
延床面積	約 3,700 m ²	3,101 m ²

※諸室の面積や配置等詳細については、今後の設計においてすすめていきます。

1 1 - 4 概算整備費及び財源計画

(1) 概算事業費

整備に要する概算事業費は、次表のとおりとします。

項目	内容	事業費(円)
新体育館	設計・管理・調査費等	97,174,000
	工事	1,605,000,000
白岩運動公園	設計・管理・調査費等	38,010,000
	工事	152,300,000
解体関係	設計・管理・調査費等	5,684,000
	工事	152,700,000

税(10%)込

(参考：武雄市白岩運動公園体育施設整備に係る基礎調査)

(2) 財源計画

「市債（公共施設等適正管理推進事業債（充当率：90%、交付税措置：元利償還金の50%）等）」や「社会資本整備総合交付金」などの活用を検討し、財源に充てるものとします。

なお、「公共施設等適正管理推進事業債」を活用するにあたり、集約化する従前施設は、白岩体育館と北方西体育館とします。

(3) 維持管理費の軽減

- ・短期計画として、光熱水費軽減を図った施設整備を検討します。
- ・中期計画として、メンテナンス性を検討します。
- ・長期計画として、塗装や床面改修費など維持管理費の低減を図ります。

(4) 設計者選定手法

公共工事の品質は、経済性に配慮しつつ価格以外の多様な要素を考慮し、価格および品質が総合的に優れた内容の契約が求められ、その調査・設計についても建設段階および維持管理段階を通じた総合的なコスト縮減と品質向上のための技術提案が必要であり、その品質を確保することができる技術提案方式（プロポーザル）を採用します。

(参考) 設計者選定手法の類型と概要

○技術提案方式（プロポーザル）

- ・発注者が、複数の設計者から対象プロジェクトの設計業務に対する設計体制、実施方式、プロジェクトに対する考え方等についての技術提案（具体的な設計案を求めることはせず、図形表現はイラスト、イメージ図程度まで）を求め、必要に応じてヒアリングを行い、設計委託にふさわしい考え方を有する組織と人を選ぶ方式。

○設計競技方式（コンペ）

- ・発注者が、複数の設計者から対象プロジェクトの設計案の提出を求め、その中から最も良い設計案を選び、その提案者を設計者として指名する方式。

○競争入札方式

- ・発注者が、複数の設計者から設計料の提案を受けて、一番安い設計料を提示した設計者を選定する方式。

1 1 - 5 想定事業スケジュール

前述の事業手法等の検討や令和5年に佐賀県で開催される第78回国民スポーツ大会・第23回全国障害者スポーツ大会等を見据え、現在想定する事業スケジュールを次のとおり示します。

また、利用される個人、団体のみなさまへは事前に告知することで、できる限り利便性を損なわないように努めます。

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
新体育館 (移転建替)	・設計	・工事 →	【利用開始】	
白岩体育館 (除却)			【解体】	
白岩運動公園 (体育館周辺整備)	・設計		・工事 → 【一部利用開始】	【全面利用開始】
北方西体育館 (除却)				【用途廃止】 (以降5年内)

第12章 管理運営について

12-1 方針

現在のスポーツ需要を満たしつつも、将来の人口減少や少子高齢化を見据え、新たな需要や潜在している需要を掘り起こし、スポーツ人口を拡大するため、個人参加型プログラムの充実を図るなど、これまでスポーツに親しむ機会の少なかった層をターゲットに一層の事業展開を図ります。

また、市体育協会や各競技団体、スポーツ推進委員、総合型地域スポーツクラブさわかクラブ武雄などスポーツ振興の担い手の皆さんと連携した各種事業に取り組むとともに、スポーツ合宿や大会、イベントなど、商業・観光業との相乗効果も期待できるコンテンツを取り入れていきます。

12-2 施設運営の考え方

(1) 管理、運営方式の検討

白岩運動公園及び園内施設の管理と運営を一体的に行うことで、効率的かつ効果的に取り組んでいく手法等を検討し、民間が持つノウハウの活用を図ります。

○指定管理者制度

- ・地方自治法にて規定される「公の施設」運営において、質の高い公共サービスを効率的に提供することを目的に、民間ノウハウの導入を図る制度。

○ネーミングライツパートナー制度

- ・スポンサーとなる民間企業の企業名やブランド、商品名を公共施設に付す権利を与える制度。これに伴う収入を財源に維持管理の費用等を一部に充当可能。

○サウンディング型市場調査

- ・事業内容や事業スキームなどに関して、民間事業者の意見や新たな提案の把握などを行うことで、対象事業の検討を進展させるための情報収集を目的とした手法。

○公募設置管理制度（P-PFI）

- ・都市公園において飲食店、売店等の公園施設（公募対象公園施設）の設置または管理を行う民間事業者を公募により選定。事業者が設置する施設から得られる収益を公園整備に還元することを条件に、事業者には都市公園法の特例措置がインセンティブとして適用される。

(2) 利用料金設定等の検討

利用料金などは、周辺類似施設などを参考にしながら、当該施設に係るランニングコストに見合った料金を検討します。

また、自動販売機設置や広告などによる収入の確保についても検討します。

(3) その他

開館時間、施設予約の方法、無料開放日の設定などを検討し、より利用しやすい環境づくりに取り組みます。